

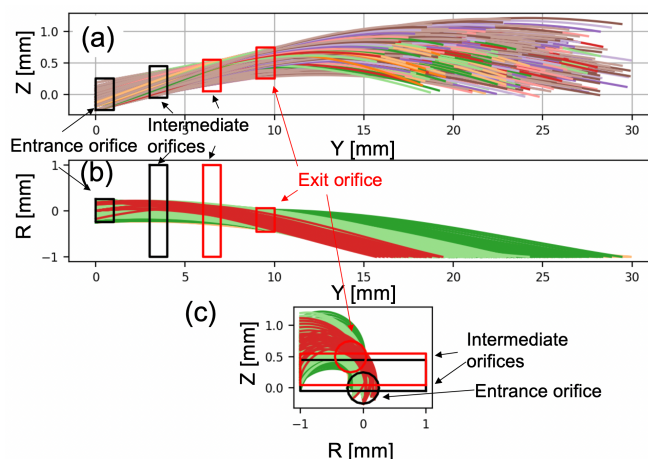
プラズマ・核融合学会誌

第99巻第3号

2023年3月

解説	ICP 発光分光分析法による水中マイクロプラスチックの計測	寺本 慶之	51
特集	核融合原型炉に向けた加熱・電流駆動機器の開発		
	1. はじめに	辻井 直人	57
	2. 原型炉級電子サイクロトロン加熱・電流駆動機器の開発	小田 靖久, 長崎 百伸, 福山 淳, 前川 孝, 出射 浩	60
	3. 原型炉級中性粒子ビーム入射装置の開発	柏木 美恵子, 梅田 尚孝	66
	4. 原型炉級イオンサイクロトロン加熱機器の開発	笠原 寛史	72
	5. まとめ	辻井 直人	78
講座	プラズマと触媒の物理化学的相互作用と表面反応の深化		
	1. はじめに	金 賢夏	80
	2. プラズマ触媒の基礎	金 賢夏	83
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			89
インフォメーション			90
	ITER だより(98)		
	ITPA(国際トカマク物理活動) 会合報告(83)		
	【会議報告】 第31回国際土岐コンファレンス(ITC31)		
	20th International Congress on Plasma Physics (ICPP2022)		
	第7回「液体金属の核融合への応用」に関する国際シンポジウム		
	【人事公募】		
	令和5年度 第21回高校生シンポジウム実習受入研究室募集ご協力をお願い		
	【こちら編集委員会です】 3月号付録カレンダーについて		

編集後記



表紙の絵

低域混成波で生成される高速電子の特性理解のため、プラズマ壁に到達する高速電子のピッチ角を同定するプローブを検討した。製作可能な構造でピッチ角分解能を見積もるために、当該構造にて様々な初期条件でプローブの入り口より電子を飛ばす数値計算を行った。本図はその結果の一つであり、各線が検出するべく選択された軌道を表す。本データの解析より、分解能4度を達成できそうである。現在、プローブを製作中である。

(Kouji SHINOHARA *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 18, 2402006 (2023) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2F Tel: (03) 3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。